

## 10.2 脱炭素イノベーションによる地域循環共生圏構築事業〈グリーンスローモビリティの導入実証・促進事業〉

① グリーンスローモビリティによるCO<sub>2</sub>削減、地域活性化

## 事業概要

事業者概要	事業者名	陸前高田市（設備導入者） 一般社団法人陸前高田グリーンスローモビリティ （運行主体）
	業種	地方公共団体
事業所	所在地	岩手県
	総延床面積	-
補助金額	補助金額	約1,460万円
	補助率	1/2
主な導入設備	従前設備	なし（新設のため）
	導入設備	電動バス 2台
事業期間	稼働日	2022年4月
区分		新設
特長		地域周遊バスの導入にあたり、電動バスを採用することで、CO <sub>2</sub> の排出量を抑制することができた。また、グリーンスローモビリティによって、道の駅や商業施設、観光地、公営住宅を結び、地域の高齢者や観光客の移動手段となり、地域の活性化につながった。

## システム図

## 実施前

新設のため該当なし

## 実施後



地域周遊電動バス

## 写真

地域周遊電動バス



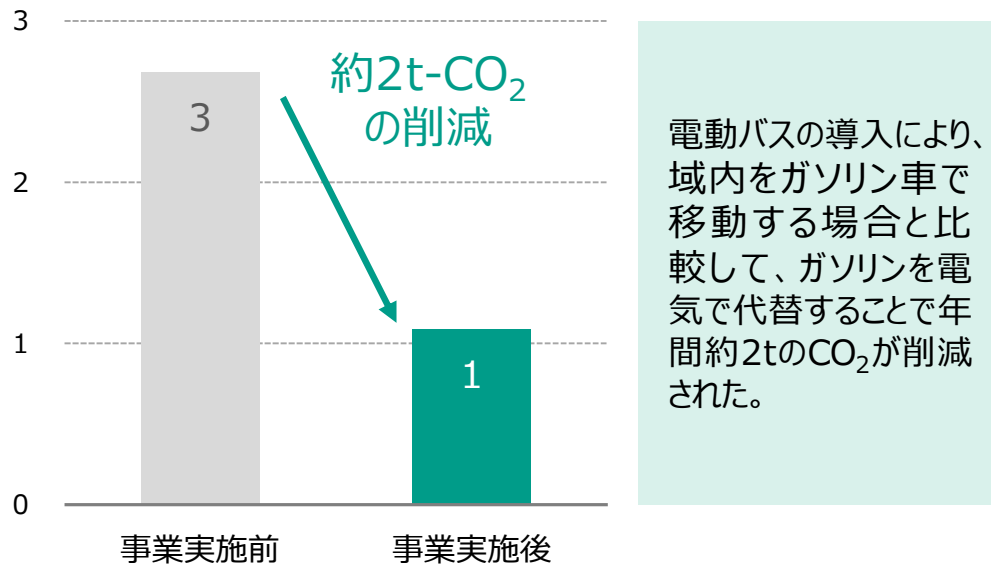
## ①グリーンスローモビリティによるCO<sub>2</sub>削減、地域活性化

### 事業の効果

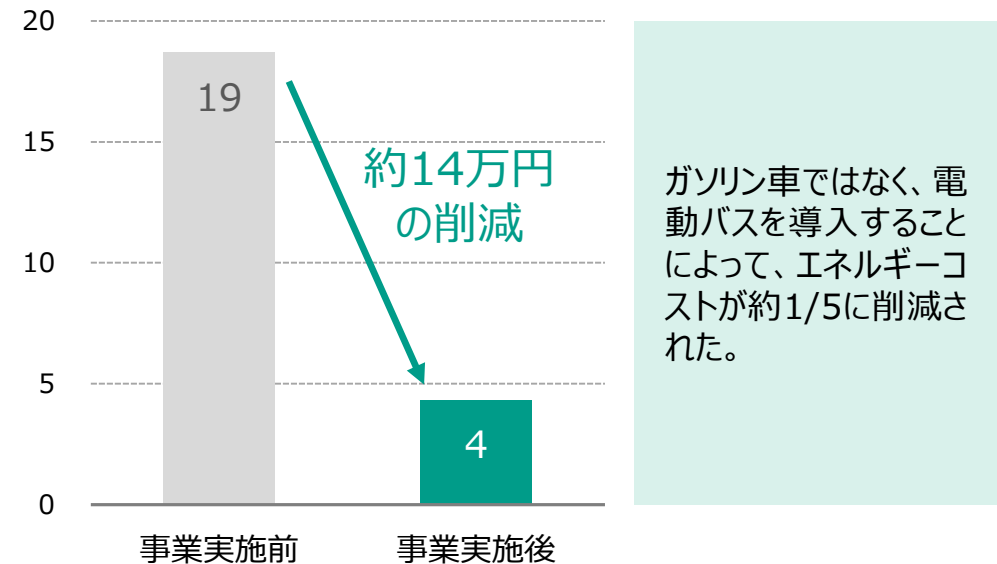
エネルギーコスト削減額		約14万円/年
投資回収年数	補助あり	約115年
	補助なし	約215年

CO <sub>2</sub> 削減量	約2t-CO <sub>2</sub> /年
CO <sub>2</sub> 削減コスト	2,295,055円/t-CO <sub>2</sub>

CO<sub>2</sub>排出量 (t-CO<sub>2</sub>/年)



エネルギーコスト (万円/年)



【脚注】  
 ※ ここに示す事業の効果は、電力単価：22.5円/kWh（出典：電力・ガス取引監視等委員会HP）を用いて試算したものである。

## ① グリーンスローモビリティによるCO<sub>2</sub>削減、地域活性化

### 事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

#### ■ 「電動バスの導入」によって、CO<sub>2</sub>削減以外に、以下のような副次的効果があった。

- ・ 電動バスで、平日に団地と商業施設や市役所を安い運賃で結ぶ路線を設置した。これにより高齢者等の日常生活の移動手段として利用され、地域活性化に繋がった。また、電動バスを利用した自治会のイベントも開催されるなど、コミュニティの活性化にも繋がっている。
- ・ 電動バスで、休日に道の駅、各観光拠点、駅を結ぶ路線を設置し、観光地と市街地の周遊を可能にした。また、1日フリーパス切符の設定を行った。これにより、観光客の自家用車での移動が電動バスに置き換わり、地域のCO<sub>2</sub>排出量が削減された。

#### 高齢者の移動手段確保と地域活性化

**実施前** 移動手段が限定されており、外出や人との交流の機会が減少



**実施後** 高齢者の移動手段の確保と地域の活性化



高齢者の外出の機会につながり、**地域活性化に繋がった。**

#### 観光客の移動手段の変更によるCO<sub>2</sub>削減

**実施前** 観光客は各自で移動手段を確保



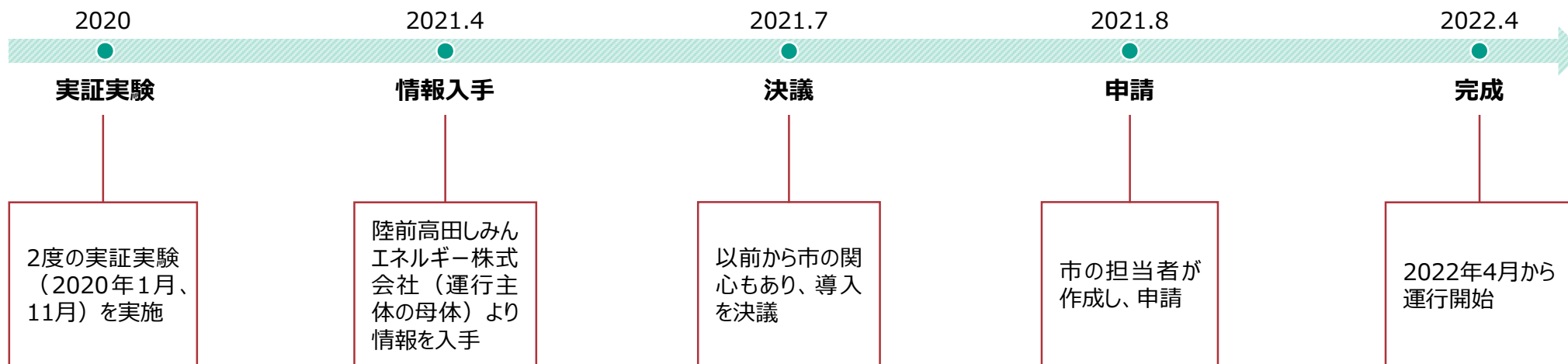
**実施後** 道の駅等と市街地を結び、観光客の移動手段が電動バスに変更



自家用車の利用が減り、**地域のCO<sub>2</sub>排出量が削減された。**

## ①グリーンスローモビリティによるCO<sub>2</sub>削減、地域活性化

### 事業の経緯／今後の予定



### 事業者の声



#### 松木

陸前高田市 政策推進室 政策広報係長

- ・ 市内をゆっくり走る、環境にやさしい小型EVバスとして、可愛らしいデザインとともに市民や観光客の皆様から親しまれています。
- ・ 市民公募により「モビタ」と愛称を付け、市民の移動の足やお出かけのきっかけに、観光客の市内周遊に役立てられています。地元ドライバーによるガイドも人気となっています。